

序章

1 計画策定の背景と目的

日本で初めて本格的な武家政権が誕生したことで知られる鎌倉は、^{みなもとのよりとも}源頼朝によって幕府が開かれた後、盛んに^{こんりゅう}建立された社寺をはじめ、中世の道路網を踏襲した都市構造や^{さんりょうぶ}山稜部の土木遺構、保養地の別荘として近代に建てられた和風・洋風の建築物など、時代の流れを反映した、貴重な歴史的遺産が数多く残る国内有数の歴史都市である。

また、緑豊かな丘陵を^{よう}擁する市域の南には、雄大な相模湾を臨む海岸線が延々と続き、東に三浦半島、西に伊豆半島、遠く沖合には伊豆大島を眺望するなど、自然を身近に感じることができる都市でもある。

このように、歴史的環境と自然的環境とが調和した良好な市街地を有する鎌倉には、国内外から年間約 1,600 万人もの観光客が訪れ、さらには首都圏に通う人々のベッドタウンとしても人気を誇っている。

しかし、国際的な観光都市となった鎌倉は、観光と市民生活の両立や歴史的遺産・自然的環境の保全といった課題を抱えており、その解決にあたっては、常に文化財保護や景観保全の視点を持ち合わせた取組が必要となっている。

こうした中、過去の歴史を振り返ってみると、昭和 30 年代中頃、「昭和の鎌倉攻め」ともいわれる宅地造成の波が鎌倉市の至る所で巻き起こり、昭和 39 年（1964 年）には、その波が^{つるがおかりはちまんぐう}鶴岡八幡宮の裏山にまで押し寄せた。このとき市民は、古都の景観の破壊を防ぐため宅地造成に反対する運動を起こし、学者、文化人、僧侶までもがブルドーザーの前に立ちはだかり、ついには宅地造成を阻止するとともに募金活動などによって開発対象となっていた土地を購入した。いわゆる「御谷騒動」と呼ばれるこの一件は、我が国初のナショナルトラスト運動として結実し、「古都保存法」制定の契機となり、山稜部における豊かな緑を背景とした社寺景観の保全へとつながっていった。

かつて日本の政治や文化の中心として栄華を極めた鎌倉には、200 を超える国指定文化財が存在しており、これらの多くは鎌倉において古来より営々と宗教活動を続けている社寺（以下「生きている歴史的遺産」という。）に由来するものである。そこで日本政府は、中世を代表する社寺などを、^{けんちよ}顕著な普遍的価値を有する人類共通の財産として守り継承していくため、平成 4 年（1992 年）に「古都鎌倉の寺院・神社ほか」として世界遺産登録のための暫定一覧表に記載し、平成 23 年（2011 年）に「武家の古都・鎌倉」という考え方のもと、「国際連合教育科学文化機関（以下「ユネスコ」という。）」に対し世界遺産一覧表記載への推薦書を提出した。

しかし、平成 25 年（2013 年）4 月、ユネスコの諮問機関である「国際記念物遺跡会議（イコモス）」が、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産一覧表への記載は不相当とする勧告を

出し、これを受けて日本政府は、同年6月「武家の古都・鎌倉」の推薦を取下げた。

また、こうした背景を踏まえて市は、世界文化遺産登録の推進と同時に、今一度まちづくりの原点に立ち返って諸課題の解決を図るため、第3次鎌倉市総合計画（平成8年（1996年）度～平成37年（2025年）度）第4期基本計画（令和2年（2020年）度～令和7年（2025年）度）において、基本計画推進の基礎となる「計画の推進に向けた考え方」に「歴史的遺産と共生するまちづくり」を位置付けた。

「歴史まちづくり法」に基づく「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」は、歴史的遺産と共生するまちづくりを推進する上で、後世に守り伝えるべきまち並みをより明確に示し、まちづくりの基盤を整えていくことを目的として策定するものである。

本市では平成27年（2015年）に第1期計画である「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」を策定し、歴史的遺産と共生するまちづくりの推進を図ってきた。本計画は第1期計画の方向性を踏襲し、改めて市の歴史的風致を整理し、歴史的遺産を活かすため施策を示し、歴史的遺産と共生するまちづくりをさらに推進していくため、「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の第2期計画として策定するものである。

2 計画期間

本計画の計画期間は、令和8年（2026年）度から令和17年（2035年）度までの10年間とする。

3 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、庁内に「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を設置し、関係部署と連携を図りながら課題の整理及び事業案等の検討を行い、学識経験者や関係社寺、関係団体、市民等で構成する歴史まちづくり法第11条に基づく「鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会（以下「協議会」という。）」を設置して協議するとともに、協議会に「鎌倉市歴史的風致維持向上計画第2期計画検討部会」を設置し、第2期計画に必要な事項の検討等を行い、パブリックコメントなどによる市民意見の反映を経て、「鎌倉市歴史的風致維持向上計画（第2期）」を策定した。

表 序-1 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会(敬称略) 令和8年(2026年)4月時点

| 区分 | 氏名 | 役職等 |
|----------------|--------|-----------------|
| 市民 | 大木 淳 | 公募 |
| | 岡 由雨子 | 公募 |
| 関係社寺 | 田中 密敬 | 極楽寺住職 |
| | 新名 紀夫 | 鶴岡八幡宮庶務課長補佐 |
| 関係団体 | 村田 佳代子 | 公益財団法人鎌倉風致保存会理事 |
| | 横松 佐智子 | 公益財団法人鎌倉市公園協会理事 |
| | 牧田 知江子 | 公益社団法人鎌倉市観光協会理事 |
| | 波多辺 弘三 | 鎌倉商工会議所専務理事 |
| 学識経験者 | 赤松 加寿江 | 國學院大學大学准教授 |
| | ○小林 紀子 | 横浜市歴史博物館主任学芸員 |
| | ◎西村 幸夫 | 國學院大學教授 |
| | 福岡 孝則 | 東京農業大学教授 |
| 関係機関 (神奈川県) | 向原 浩和 | 県土整備局都市部都市整備課長 |
| | 鹿島 美雪 | 教育局生涯学習部文化遺産課長 |
| | 星名 隆 | 県土整備局藤沢土木事務所長 |
| 鎌倉市 | 能條 裕子 | 共生共創部長 |
| | 古賀 久貴 | 都市景観課長 |
| | 小林 昭嗣 | 教育文化財部長 |

◎委員長 ○副委員長

表 序-2 鎌倉市歴史的風致維持向上計画第2期計画検討部会(敬称略)(令和7年(2025年)6月現在)

| 氏名 | 専攻等 |
|--------|-------------|
| 大木 淳 | (市民委員) |
| 赤松 加寿江 | 建築史(歴史的建築物) |
| 小林 紀子 | 文化財 |
| 西村 幸夫 | 歴史まちづくり・景観 |
| 福岡 孝則 | 都市計画・まちづくり |

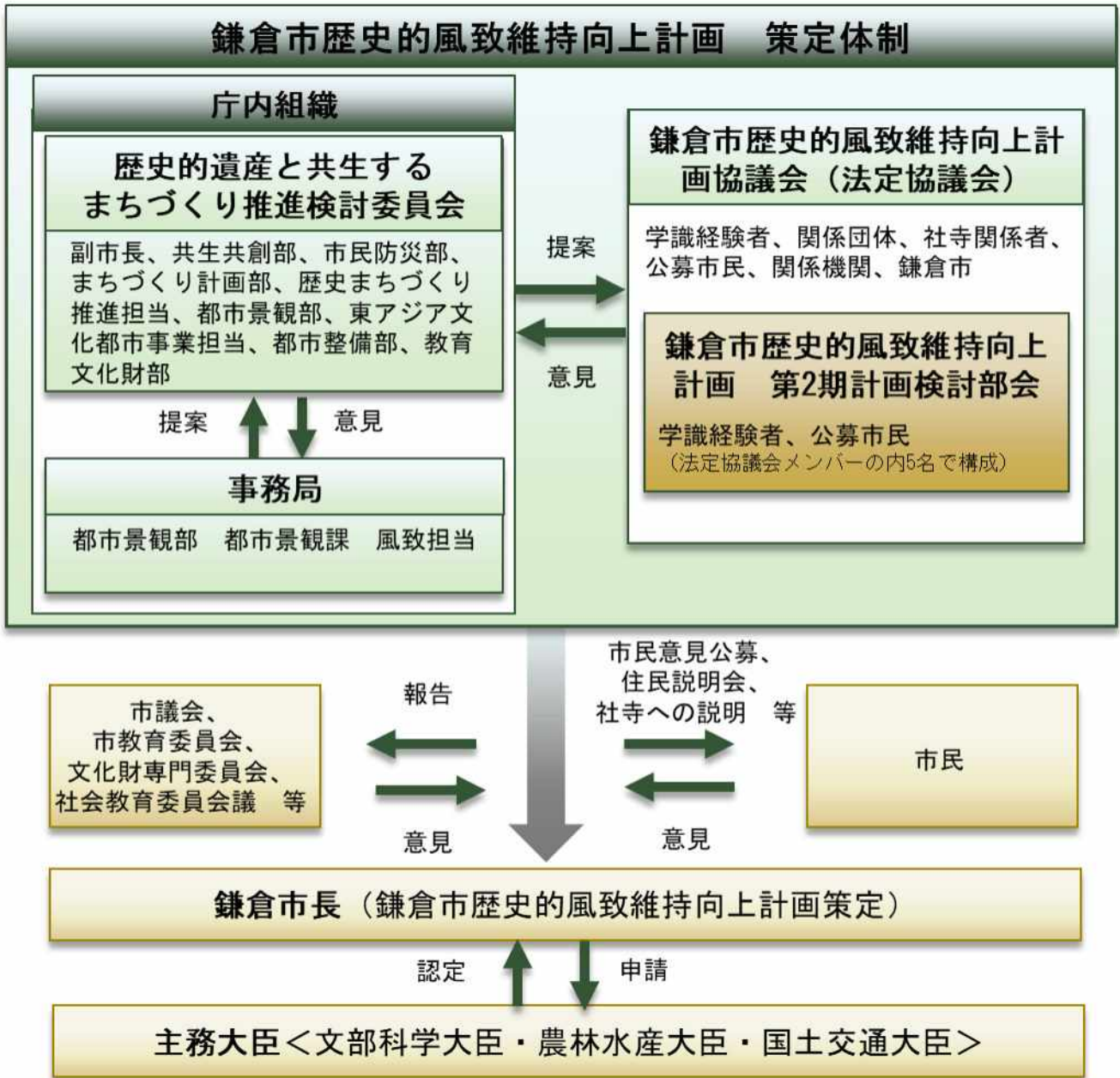


図 序-1 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 策定体制

4 計画の策定経緯

本計画の策定に当たっては、学識経験者等による会議・委員会・法定協議会等のほか、市民の意見募集やフィールドワークなどを行った。

表 序-3 第1期計画の策定経過

| 日 時 | 内 容 |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 平成 26 年 8 月 14 日 | 第 1 回歴史的風致維持向上計画策定アドバイザー会議 |
| 平成 26 年 10 月 21 日 | 第 2 回歴史的風致維持向上計画策定アドバイザー会議 |
| 平成 26 年 11 月 15 日 | 第 1 回かまくら歴史まちづくりワールド・カフェ |
| 平成 27 年 1 月 28 日 | 第 3 回歴史的風致維持向上計画策定アドバイザー会議 |
| 平成 27 年 5 月 15 日 | 第 1 回歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会 |
| 平成 27 年 6 月 25 日 | 第 1 回鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会 |
| 平成 27 年 8 月 4 日 | 第 2 回歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会 |
| 平成 27 年 8 月 18 日 ～ 9 月 17 日 | 市民意見公募 |
| 平成 27 年 8 月 22 日 | 第 2 回かまくら歴史まちづくりワールド・カフェ |
| 平成 27 年 10 月 8 日 | 第 2 回鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会 |
| 平成 27 年 11 月 6 日 | 第 3 回歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会 |
| 平成 27 年 11 月 19 日 | 第 3 回鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会 |
| 平成 27 年 12 月 16 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 申請 |
| 平成 28 年 1 月 25 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 主務大臣の認定 |

表 序-4 第2期計画の策定経過(更新中)

| 日 時 | 内 容 |
|------------------|---------------------------------------|
| 令和 6 年 12 月 24 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 第 2 期計画検討部会 |
| 令和 7 年 2 月 28 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 第 2 期計画検討部会 |
| 令和 7 年 3 月 7 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会 |
| 令和 7 年 6 月 1 日 | 第 1 回かまくら歴史まちづくりフィールドワーク (稲村ヶ崎～長谷) |
| 令和 7 年 6 月 12 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画 第 2 期計画検討部会 |
| 令和 7 年 6 月 28 日 | 第 2 回かまくら歴史まちづくりフィールドワーク (鎌倉山) |
| 令和 7 年 11 月 27 日 | 第 14 回歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会 |
| 令和 8 年 1 月 15 日 | 第 15 回歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会 |
| 令和 8 年 2 月 5 日 | 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会 |

